

みち・にわプロジェクト～快適で住み続けられるまちづくりで観光支援 チームみち・にわ

プロジェクトチームの 目的

インフラ整備は進みつつも、メンテナンスの効率化等を目的に「魅せる沿道景観」が減少し、結果、観光資源となるべきインフラが活用できていない。そこで、「沖縄らしい世界水準の観光地にふさわしい良好な景観形成」を「道路美化ユイマール企業制度」を中心に、行政のみではなく、地域、企業、ボランティア団体が協働・総動員で「魅せる沿道景観」を推進する。

解決したい課題

- ・インフラと花を融合して観光に資する「魅せる沿道景観」を推進（観光資源の創造）
- ・地域・行政・企業、そしてボランティア団体が協働・総動員で快適なまちづくりを推進（官民連携を推進）

関連するゴール



活動期間

令和8年5月～令和9年4月

おきなわSDGsアクションプランとの関係性

- | | |
|-------|-----|
| 優先課題④ | ④-1 |
| 優先課題⑦ | ⑦-1 |
| 優先課題⑨ | ⑨-3 |

- ・魅力的な観光産業の展開と生物多様性の両立により、世界に誇る持続可能な観光地の形成を実現する。
- ・美しく豊かな自然が保全され、生物多様性の維持を実現する。
- ・地域課題に行政・地域・企業等の多様な関係者で連携して推進するパートナーシップを通じて、共助・共創型の社会を実現する。

活動内容 及び 期待される成果

【直接参加】 企業、地域、ボランティア団体が協働でインフラを活用して花植え等を行う。：年に4回以上。

【ボランティア支援】 花植えに直接参加できない企業等は、ボランティア団体の活動を支援することでプロジェクトに参加。（例えば、軍手・肥料の提供、ボランティア団体へ散水に必要な水道施設を沿道企業が支援等）

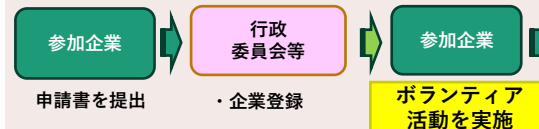
【活動内容の広報】 活動内容は、行政、緑化推進委員会等で広報活動を行う。

- ・インスタ映えインフラ・花を促進することで観光資源を創造、観光客等の拡散。
- ・良好な景観形成を道路を起点に、かわ等、他のインフラへ展開することでインフラの多様な活用を促進できる。
- ・地域の住民、企業、ボランティア団体が協働することで地域の活性化が期待できる。



プロジェクトチームのイメージ

企業自らがボランティア活動を実施する場合



ボランティア団体を支援したい場合

